

『伊能忠敬研究』 第38号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日		
38号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇〇四年 第三八号 史料と伊能図 創立十周年記念号	伊能忠敬研究会	38--1	20041119		
		2	表紙図解説 米国議会図書館蔵 伊能大図182号の部分「竹 田」付近	渡辺	38-0			
		3	目次		38-0			
	特集	4	伊能忠敬研究会の十年を祝う ターン人生 (なかえ としただ・朝日新聞社顧問)	中江 利忠	38-1			
		5	特集1 忠敬が地球図を描く 武蔵大学展で公開	福田 弘行	38-2			
		6	特集2 ドキュメント伊能忠敬研究会10年の歩み 伊能大図21 4枚史上初の全図公開まで 1995. 3. 27フランスパリ郊外のペイレ氏を訪問~2004. 8. 4 新しい十年に向けて	渡辺 一郎	38-4			
		7	特集3 「稲」は伊能忠敬に勘当されたか	佐久間 達夫	38-18			
			資料五 平山藤右衛門家の過去帳(伊能盛右衛門と伊能稲 (妙薫)) 菩提寺 多古町北中 法性山浄妙寺(日蓮宗)		38-21			
			資料8 伊能盛右衛門・稲夫妻と忠敬の関係年表		38-25			
		8	特集4 忠敬を楽しむ 堀田佐野藩資料展 (かしわざい たかお・柏木幸七子孫、作詞家)	柏木 隆雄	38-53 38-54			
		9	忠敬さんの鼻メガネ 非常に優れた頭脳の持ち主でもあった忠敬先生でも年齢に は勝てないのかメガネ、重要書類を忘れることもあったのだ (かわしま えつこ・歴史街道を歩く会代表)	河島 悦子	38-54 38-55			
			10	会員御縁で三つの話題 清水建宇さんの幅広いご活躍に期待! 西川治先生所蔵の貴重な地図類に新たな感動! 赤水のふるさとで赤浜音楽祭をたんのう! (かわかみ きよし・水戸市、JWA役員)	川上 清		38-56 38-57	
				11	忠敬の歩いた道を高山に迎える (かとう ちゅうぞう・静岡市、新入会員)		加藤 忠三	38-57 38-59
		話題		12 「伊能忠敬と北陸測量」 伊能忠敬記念館特別展	伊能忠敬記念館		38-66	
			13	忠敬の用いた瘡(おこり)の治療薬 (すぎうら もりくに・山形大学名誉教授、医学博士)	杉浦 守邦		38-67 38-68	
			14	瘡の診療、投薬を測量日記にみる (さくま たつお・元伊能忠敬記念館館長)	佐久間 達夫		38-68 38-69	
		△	神石高原 町測量記念 碑	15	伊能忠敬の測量地に石碑 広島県〔神石郡〕三和(さんわ)町 当時の宿泊地にも石板 (記事、写真は十一月に合併で誕生した神石高原町の平田 行雄氏提供)		(中国新聞)	38-69
		◎		旌門金鏡 類録	16		伊能古文書教室 佐原伊能家史料を読む 『旌門金鏡類録』 (五) 箱訴願書 永沢・伊能の「両家」 箱訴のねらい	小島 一仁
研究ノート	17	伊能忠敬大日本沿海輿地全図(大図)一出雲伯耆地方一 『歴史地理』第十三巻一号(明治42年)に掲載 大図副本 の写真版としては唯一 (すずき じゅんこ・相模女子大講師、元国立国会図書 館)	鈴木 純子		38-32 38-34			
		●	蝦夷地測 量〔寛政12 庚申年第一 次測量(18 00)〕		18	東蝦夷地の会所 はしがき 一、東蝦夷地の上知と幕吏の派遣 二、霊巖島に江戸会所開設 三、谷元旦の「蝦夷紀行」と松田仁三郎の「北夷談」 四、蝦夷地各場所に会所設置	堀江 敏夫	38-35 38-36 38-37 38-39

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
38号	●蝦夷地測量〔寛政12庚申年第一次測量（1800）〕	18	五、伊能忠敬の蝦夷地測量と会所	堀江 敏夫	38-39	20041119
			あとがき		38-41	
			（ほりえ としお・苫小牧駒澤大学非常勤講師）			
◎伊能家文書紹介	19	伊能家文書紹介 三 伊能忠敬宛 高橋三平重賢書簡 文化五年一月二日〔1808.01.29〕	安藤 由紀子	38-42		
		高橋重賢とは何者か		38-44		
		二〇年にわたる幕府の蝦夷地直轄行政の中心にいた人物である				
		「シャナ〔紗那〕事件」前史・ロシアの南下				
		重賢と林蔵と忠敬の接点		38-45		
		シャナ事件・林蔵の奮闘		38-46		
		（あんどう ゆきこ・元国会図書館憲政史料室《資料室 正当》）		38-47		
		20		二つの家訓	伊藤 栄子	38-48
		第一の家訓 亥〔寛政三年〕九月廿一日（家業を息子の景敬に譲る時）		38-49		
		第二の家訓 文化八末年十一月（九州第二次測量出立直前）				
別紙 譲り金の内訳	38-50					
忠敬を詠む	21	忠敬を詠む（二）	伊能 洋	38-26		
		母多嘉子（俳号 三木つゆ子）は若い頃から和歌を学び、宮柊二の「コスモス」に入っていたが一九七三年に俳句に転向、青柳志解樹に師事して「山暦」創刊と共に会員となった一九八二年には傘寿〔八十歳〕を記念して句集「夕顔」を上梓した				
		その翌年〔一九八三年〕逝去した母と入れ替りに私が山暦に入れて頂くことになった 春光を手に掬ひみて傘寿かな つゆ子 陽子に 秋朗ら娘（こ）は古文書を読みつぐと つゆ子				
◎芳名録より	22	芳名録よりー佐原伊能家を訪れた人々ー	伊能 陽子	38-27		
		稲毛 金七（いなげ きんしち） 大正十一年十二月四日 建部 遜吾（たけべ とんご） 大正十一年九月				
■伊能忠諭日記	24	名古屋ドームに大図広がる 10月31日	写真 伊能 洋 佐久間 達夫	38-52		
		伊能忠諭（いのうただのり）日記（七）〔1822.12.13～1823.06.11（文政05.11.01～文政06.05.03）〕		38-60		
		注釈		38-65		
		注3 伊能忠諭の結婚				
		注4 佐原村伊能家の庭で、天体（月食）観測				
注6 伊能忠敬の碑文	38-66					
注10 伊能家と佐原観福寺						
忠敬談話室だより	25	別海は鮭の季節	丹羽 菊乃	38-70		
		（にわ きくの・東京都世田谷区）				
日々の話題	27	別海町通信		38-70		
		日々の話題から		38-71		
		戦中極秘の「多摩地形図」を編さん・刊行 前柏書房社長の芳賀さんが独立、新会社「之潮（これじお）」を起こした 島原の松尾卓次さん「新島原街道を行く」刊行 出島文庫月刊『地図中心』で「特集 伊能大図」発行				
会員便り	28	新入会員のみなさんです。どうぞよろしく		38-72		
		今村 恵二さん 千葉県白井市				
		井口 利夫さん 北海道室蘭市				
		星埜 由尚さん 茨城県つくば市				
		湯尾 弘司さん 兵庫県明石市				
		加藤 忠三さん 静岡県静岡市				
巻瀨 晃さん 東京都中央区						
お知らせ 奥付	29	総会と10周年記念集会のご案内		38-72		
		研究会案内・投稿規定・HP・編集後記（F）	（F）	38-73		
		2004年11月19日発行 発行 渡辺 一郎 伊能忠敬研究会	編集 福田 弘行 発行 渡辺 一郎	38-73		

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
38号	奥付	32	裏表紙 (英文目次)		38-74	20041119